

『耕人塾』実践10項目について

「耕人」第1号で示した「実践10項目」の具体的な実践方法をまとめました。それぞれの項目をじっくり読み、『耕人塾』ではどのような「人間像」を目指しているのかを考えてみてください。

- ① 志を高くもち、「人間力」を磨くために自ら努力する。
若い時の高い「志」は人生の指針になります。「人間力」を磨いて達成しよう。
- ② 時間や約束を守り、場に応じた服装や言葉遣いをする。
信頼を得るには小さなことをしっかり守り、場に相応しい言動をしよう。
- ③ 心と姿を整え、礼節を重んじ、品位を身に付ける。
伝統文化や武道を学んで、心と姿を正し、礼節と品位のある人になろう。
- ④ 相手の話を目と心で聴き取り、自己の成長につなげる。
相手の伝えたいことを感じ取り、価値あるものを見つけ、自己成長につなげよう。
- ⑤ 有事の際には正直に、誠実に、勇気を持って行動する。
一大事に遭遇したときは、正直に真心と勇気を持って行動できる胆力を養おう。
- ⑥ 感謝の気持ちで相手より先に挨拶をし、和顔愛語で人に接する。
一期一会の出会いに感謝して自分から挨拶をし、笑顔と優しい言葉をかけよう。
- ⑦ 異なる立場や意見を尊重し、自分の考えを積極的に伝える。
多様な意見は議論の幅を広げます。失敗を恐れず自分の考えを積極的に話そう。
- ⑧ 何事も主体的に考え、自己判断・自己責任を基本とする。
どんな場合でも自ら考え、判断・行動し、その責任は自分でとる覚悟を持とう。
- ⑨ 素直で謙虚な気持ちで学び、思いやりや奉仕の心を形で表す。
自分を成長させるために謙虚に学び、思いやりの心で奉仕活動をしよう。
- ⑩ 苦しさから逃げず、逆境を乗り越える勇気と忍耐力を身に付ける。
人生には多くの苦難があります。その壁を乗り越える勇気と忍耐力を養おう。

これらの「実践10項目」すべてを完全に実践するという事は難しいことですが、普段の生活の中で1つでも2つでも実践することによって、これまでの自分の生活が変化し、必ず成長につながっていきます。また、困難に遭遇した場合に、何を基準に判断し、行動したらよいかという指針になるはずです。この「実践10項目」中から自分の目標を探して自分の言葉に書き直し、机の前に貼って毎日実践し、その結果どうであったかを反省することが大切です。

『耕人塾』宿泊研修の「挨拶を極めよう」で「ABCを大切にする」という話がありました。「Aは当たり前のことを」、「Bばかりにしないで」、「Cちゃんとする」ということでした。「清掃を極めよう」でも同じような話がありました。「誰にでもできることを誰にもできないくらいに一生懸命やる」という言葉もあります。どちらも当たり前のことを大切に、誠意をもって一生懸命努力することで「人間力」が磨かれ、自己成長につながっていくのだと思います。